令和５年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町名	課題の類型１	課題の類型２	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値		アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
近江八幡市	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	・月45時間超の教員の割合は小学校で35%、中学校が41%である。教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題である。	・市全体で地域学校協働活動推進員を24名配置。推進員は学校と地域の連絡調整等を担い、教員の業務負担軽減を図る。	地域学校協働活動推進員を中心に学校と地域をつなぎ、協働活動が充実することで、教員の業務負担を軽減させる。	過勤務時間が45時間超の教員の割合（4月から1月）	小：35 中：41		小：30 中：40	小：37 中：46	3	地域学校協働活動推進員の交流会を年3回実施し、幼小中の縦のつながりをつくり、教育活動やボランティアについて情報共有する場を設ける。さらに、交流されたことを通信で発行し、現場の教員にも推進員の声を届けるようにした。	https://www.fureai-cloud.jp/okishima-es/attach/get2/399/0